

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年8月30日 (2018.8.30)

【公開番号】特開2018-86102(P2018-86102A)
 【公開日】平成30年6月7日 (2018.6.7)
 【年通号数】公開・登録公報2018-021
 【出願番号】特願2016-230614(P2016-230614)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】
 【提出日】平成30年7月23日 (2018.7.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

前記複数の可変表示部のそれぞれに表示結果を導出させるために操作される複数の第 1 操作手段と、

前記第 1 操作手段とは異なり、かつ遊技を進行させるために操作される第 2 操作手段とを備え、

表示結果組合せを導出するために最後に操作される前記第 1 操作手段への操作がされたと判定された後、遊技用価値を付与するための付与処理を実行させないように当該第 1 操作手段への操作が解除されたか否かの判定をループさせ、当該第 1 操作手段への操作が解除されたと判定された後、前記第 2 操作手段への操作が解除されるまで、当該付与処理が実行されず、

表示結果組合せを導出するために最後に操作される前記第 1 操作手段への操作がされたと判定された後、前記付与処理を実行させないように当該第 1 操作手段への操作が解除されたか否かの判定をループさせ、当該第 1 操作手段への操作が解除されたと判定された後、前記第 2 操作手段への操作が解除されていれば当該付与処理が実行される、スロットマシン。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

特許文献 1 には、「従来のスロットマシンのストップボタンは、停止操作が行われたストップボタンが非押下状態になることで、次の停止操作が可能となるように構成されている。このため、例えばストップボタンが押下状態のままになる不具合（単に、不具合と称

する場合がある)が生じると、以降の停止操作が不可能になる。このような状況下では、以降の停止操作が不可能になるため、遊技者が不具合を判断することができる場合がある」こと、「上記のような問題に鑑み、停止操作を受け付けたストップボタンが非押下状態に戻らなくても、以降の停止操作を可能とする構成」および、「入賞判定処理では、ストップボタンが全て非押下状態であることを判定(図19のステップS1501)した後に、どの役に入賞したかの判定(図19のステップS1507)が行われ、さらに、入賞判定結果を設定する処理(図19のステップS1509)が実行され」、「入賞判定処理に続いて、メダル払出処理(メイン)が実行され」るスロットマシンが開示されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献1】特開2014-161386号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明は、かかる実情に鑑み考え出されたものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

前記複数の可変表示部のそれぞれに表示結果を導出させるために操作される複数の第1操作手段と、

前記第1操作手段とは異なり、かつ遊技を進行させるために操作される第2操作手段とを備え、

表示結果組合せを導出するために最後に操作される前記第1操作手段への操作がされたと判定された後、遊技用価値を付与するための付与処理を実行させないように当該第1操作手段への操作が解除されたか否かの判定をループさせ、当該第1操作手段への操作が解除されたと判定された後、前記第2操作手段への操作が解除されるまで、当該付与処理が実行されず、

表示結果組合せを導出するために最後に操作される前記第1操作手段への操作がされたと判定された後、前記付与処理を実行させないように当該第1操作手段への操作が解除されたか否かの判定をループさせ、当該第1操作手段への操作が解除されたと判定された後、前記第2操作手段への操作が解除されていれば当該付与処理が実行される。

なお、以下の構成を備えるスロットマシンであってもよい。

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え

、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシン（たとえば、スロットマシン 1）において、

前記複数の可変表示部のそれぞれに表示結果を導出させるために操作される複数の導出操作手段（たとえば、ストップスイッチ 8 L , 8 C , 8 R）と、

前記複数の導出操作手段の操作に応じて表示結果組合せを導出させる制御を行う導出制御手段（たとえば、停止制御を行うメイン制御部 4 1）と、

前記導出制御手段が導出させた表示結果組合せに応じて特定制御を行う特定制御手段（たとえば、入賞判定処理における S 4 3 以降の処理を行うメイン制御部 4 1）とを備え、

前記導出制御手段は、前記複数の可変表示部の表示結果組合せを導出させるための前記導出操作手段への最後の操作が行われたときに、当該導出操作手段以外の導出操作手段への操作が維持された状態であるか否かに関わらず、前記導出操作手段への最後の操作に応じて表示結果組合せを導出させる制御を行い（たとえば、図 2 3 に示すように、t 1 において、右ストップスイッチ 8 R が操作されたときに、左ストップスイッチ 8 L および中ストップスイッチ 8 C への操作が維持されていても、右ストップスイッチ 8 R を操作したことに基づく停止制御を行う）、

前記特定制御手段は、

前記導出操作手段への最後の操作が維持されているときには前記特定制御を行わない一方で、当該導出操作手段への最後の操作が解除されたときには前記特定制御を行うことが可能であり（たとえば、図 2 2 に示すように、ストップスイッチに含まれる最後に操作されたストップスイッチへの操作が維持されているときは、入賞判定処理における S 4 3 以降の処理が行なわれないが、ストップスイッチに含まれる最後に操作されたストップスイッチへの操作が解除されたときには入賞判定処理における S 4 3 以降の処理が実行され得る）、

前記導出操作手段への最後の操作が解除されたとしても、当該最後の操作に対応する前記導出操作手段以外の遊技進行に係る操作手段のうち、一の操作手段（たとえば、スタートスイッチ 7、最後に操作されたストップスイッチ以外のストップスイッチ）への操作が維持されているときには前記特定制御を行わない一方で、他の操作手段（たとえば、MAX BET スイッチ 6）への操作が維持されているときには当該特定制御を行う（たとえば、図 2 3 に示すように、t 2 から t 4 において、右ストップスイッチ 8 R への操作が解除されたとしても、スタートスイッチ 7、左ストップスイッチ 8 L および右ストップスイッチ 8 R への操作が維持されているときは遊技補助表示器 1 2 の表示は更新されないものの、MAX BET スイッチ 6 への操作が維持されていても遊技補助表示器 1 2 の表示は更新される）。